



北のシュプール

第511号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市白石区平和通3丁目北 3-13-202 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail : wsaj.hokkaido@gmail.com

常設スキー学校終了

スキー学校部 石川 芳昭



今年で42回目を迎える常設スキー学校は、12月26日から28日の三日間は手稲ハイランドで、1月3日から13日は藻岩山スキー場の11日間、合わせて14日間実施しました。今年は豪雪の岩見沢方面が雪が少ない中、南区の藻岩山スキー場は雪が降り、降雪機は使ったもののそこそこの雪があり、クリスタルコースや南斜面の上からのコースは閉鎖もありましたが、第一リフトのファミリーゲレンデとフレンドリー・ゲレンデは広く滑ることができ、大きな混雑、混乱もなく開校することができました。藻岩山スキー場は、今年から北海道エネオスの子会社の北海道スクエア株式会社が、りんゆう観光に代わってスキー場の管理運営を行うことになりました。その第一段階が、リフトのオートゲート化（ICカードによる改札）でした。昨年までは、紙媒体でしたので、回数券を複数の子で共有化できたのですが、そういうことができなくなることから、受講者にとってリフト券代の負担が増えるのではないかと危惧しましたが、カウント券の発行という事で、スキー学校管理で後日使用分を清算するというシステムをとってくださり、大変助かりました。その分、カウント券の管理、回収という点でメモ帳の作成や講師の皆さんにご負担をかけざるを得なかったことはありましたが、皆様のご協力で何とかなりました。また、スノーボードを解禁するという事で、衝突事故などを心配していましたが、それほど多くの来場者もなく、大きな混乱はありませんでした。

今回の特徴的なことは、一般の受講者が多くなったことです。受講者は、のべ463名（昨年は443名）で20名増、講師はのべ141名（同130名）でした。学童クラブ（団体）の参加が、のべ387名（同388名）で1名減、一般がのべ76名（同55名）で21名増でした。昨年の受講生の方に25通（同20通）案内を出しました。また、メール・ファックスによる事前予約では37件（同22件）15件増でした。



昨年から、夏休みの期間が増え、冬休みが短くなった関係で、この期間しか設定できなかったのですが、学童クラブで多くの欠席者がなく、一般の受講者が、リピーター、HPを見てとか友達の紹介などが多かったので、参加人数が増えたことが出来ました。また、一般受講者がほとんどが小学生でしたが、今年は中学生や高校生、大人の方も受講していただき、その後の感想でも喜ばれたことも特徴的なことでした。ハガキアンケートは16名（昨年は9名）から来ましたが、受講者は「来年もきたい」「楽しく上手になった」と満足していました。

多くの講師をしていただきました指導員の皆様にこの場をかりて感謝申し上げます。



（アンケートの感想から紹介します）

○ 毎年、スキー学校に行きたいかと聞くと「行きたい」といいます。他の習い事に関しては消極的な子なので、このスキー学校を楽しんで行きたいといつてくれる事が嬉しいです。また来年も宜しくお願ひいたします。（4年女子母）

○ 娘が三日間大変お世話になりました。とても楽しくレッスンを受けたようで、本人も満足しておりました。二日目に同じグループだった男の子が先生に何も言わずに離脱していなくなったその子を待つために、

結果20分近くただ外で待つ時間がありました。どんな理由であれ、先生に報告してから行動するように子供たちに指導をお願い致します。三日間、有難うございました。（3年女子母）

○ 子どもが小学生の時からお世話になり、高校生の現在もお世話になるとは思ってもみませんでしたが、案内をもらって子供に声をかけると「行くわ」と二つ返事で、上達できる楽しみがあるのだと思います。優しい指導に感謝しています。（高1男子母）

○ 初めての参加でしたが、指導員の皆さんにとっても優しく丁寧に教えてくださいました。特に、1日目と3日目にお世話になったY先生、本当に有難うございました。息子も初めてのスキー、不安もありましたが、スキー楽しい！！と帰ってきました。また来年もぜひお願いしたいです。（1年男子母）



波乱だらけの小学生スキースクール

スカデースキーカラブ 菅 幸彦

1月10日・11日にグリーンランドホワイトパークで、小学生スキースクールを開催しました。コロナ禍で2年中止しましたが、今年で24回目。しかし開催までに波乱続きでした。こんなに雪が降らないなんて誰が想像したでしょうか。



12月中には準備を終え、スキー場のオープンを待っていましたが雪が降らず、1月3日・4日の予定を延期。それでも雪が降らず、新学期が始まるのでこれ以上の延期は無理と思い、中止を考えました。幸い前日に雪が降り10日に開校しました。



たが、所々土、草がでています。さらに10日昼から高温になり雨。少ない雪がさらに無くなり積雪14cmとのこと。明日は「中止もありうるな」と一晩中ヤキモキ。萩の山がクローズするなか、リフトを動かしてくれたグリーンランドに感謝・感謝です。雪が少なくてポールを立てられず、子供たちに人気のある林間コースはクローズでしたが、実施できてホッとした。「来年も来ます」と言ってくれた子供たちに元気をもらいました。当初から15名減って30名の参加でした。



※ 岩見沢ホワイトフレンド 「スキー教室」は岩見沢の北海道グリーンランドホワイトパークが、1月3日（土）4日（日）雪不足のため中止に成りました。

※ 札幌スキーフренд 「親子雪まみれスキー」を1月11日ティネハイランドにて開催予定でしたが天候不順の為中止に成りました。

札幌初・中・上級指導員養成実技

教育部部長 三浦 学



講師：野瀬孝全国技術部長・五十嵐佳葉北海道技術部長
参加者：上級受検2名 中級受検3名 初級受検3名
資格修了2名

1月11～12日に目まぐるしく変わる天候のなか養成実技が無事に終了しました。今シーズンのテーマ、「伸展加圧、腰の平行移動、迎

え角」を中心とした教程種目での捉え方の操作を重点的に学びました。受検者は、パラIIに至っては、トップが開かないように外足の内旋から外足荷重で山回りをしっかりと終わらせてから斜滑降に入り、股関節を意識してズレを止めるという一連の操作を練習し、それをベーシックでは重心を内足側に持って行きながら軸は外足で荷重するというところが難しく、洗練Iでは、そこに足裏切り替えを加え、内足を山側に開きだし次の外足に荷重していくという流れを練習しました。切り替えでは谷脚の小指側へエッジを切り替えるために必要不可欠な横への移動すなわち斜滑降が大事であるということを繰り返し練習しました。

個々で滑りの課題は違うため、ひとり一人にアドバイスをいただきましたので、検定までの残り約1ヶ月間で課題克服に向け、一致団結し練習会等を通して支援して行きたいと考えます。なお、今回の養成において2名が指導員資格修了証を受理しました。



初級指導員大脇徳芳さん悼む

ナイスミドルフレンド会長 初級指導員 小野 瑞子

1935年生まれの大脇さんは、教師の仕事を退職された後すぐの1996年にNMFに入会され、2009年、73歳で努力のすえ勤労者スキー協議会初級指導員の資格を得ました。

スキーはもちろんのこと、興味を持ったことには突き詰めて学習、資格取得、行動する方でした。90歳になった今シーズンの指導員研修会も受講され、その姿に他クラブのかたから「すごいね」と感嘆の声もかけられました。

クラブ例会で、1月17日マウントレースイでも滑走しました。
翌18日、クラブ歩くスキーの例会開始後間もなく雪上で倒れ、4日後の21日に逝去されました。大動脈解離という診断でした。

探求心旺盛の大脇さんには、驚くほどの刺激をもらいました。陸上競技の審判員、社交ダンス、ピースボード乗船し、アイヌ問題の講座担当、合唱第9のステージにも数回出演されていました。
90歳のスキーヤーに敬意をもって弔意を表します。

* * * お知らせです * * *

◆初・中・上指導員検定会(理論・実技)

日時:2026年2月14日(土) 8:30集合~15:00、北長沼スキー場
15日(日) 8:30集合~13:00、北長沼スキー場
結果発表 15日(日) 14:00 北長沼福祉センター

当日 沢山の応援よろしくお願いいたします。

◆ポール練習会 ~大会と同じバーンで練習します~

日時:2026年2月22日(日)8:30集合~15:00
会場:北海道グリーンランドホワイトパーク
講師:澤口 学さん
参加費:1,500円(応用研修を兼ねる)
申込み〆切:2月15日(土) ※クラブでまとめて、競技部・大野まで。

1日楽しくポール
に挑戦しよう！

◆第43回クラブ対抗競技大会

日時:2026年3月1日(日)
9:00~受付 9:30~開会式
10:30~インスペクション 11:00~競技開始
14:00~閉会式

会場:北海道グリーンランドホワイトパーク
競技種目:大回転(1本)、タイム予告レース
参加費:大人3,700円、中・高校生2,700円、小学生2,200円
申込み〆切:2025年2月7日(土)期日厳守、早めの申し込み大歓迎！

1日楽しくポール
を練習しよう！

※ 詳細は実施要項を見てください